

「新人目線」の用語解説

語句よみ

第195号



今回のテーマ **21世紀の“石油”、“データ”を握る米ハイテク企業**

大手SNSの個人情報不正利用問題を受け、株式市場が揺れ動くなか、米ハイテク企業が握る資源としての「データ」の価値に改めて注目が集まっています。今回は問題の概要と、ビッグデータを用いて活躍する米ハイテク企業について調べてみました。

日興アセットマネジメントの新人。営業推進部門に配属され、投信や経済について勉強中。

1. 個人情報不正利用問題

2018年3月19日、大手SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の米フェイスブック上の個人情報が不正に利用されたとの報道を受け、株式市場が大きく揺れ動きました。具体的には、英国の政策コンサルティング会社ケンブリッジ・アナリティカが、2016年の米大統領選挙におけるトランプ陣営の選挙活動を支援するために、フェイスブック上の約5,000万人(後に最大8,700万人に訂正)の個人情報を不正に利用したというものです。

今回の不正利用は、フェイスブックが情報を漏えいしたのではなく、ケンブリッジ大の教授が学術調査を目的としたフェイスブック上でのアンケートで正当に得たデータを、ケンブリッジ社に不正に横流したことで発生しました。そのため、問題の発覚当初、フェイスブックは今回の問題を自社の不手際ではないと主張しました。

しかし、データ保護を怠ったとして、世論の批判は高まりました。また、個人情報を分析・活用することで、効果的な広告を展開するといったビジネスに対し、今回の問題を発端に政府の規制が強化

ステップアップ

ケンブリッジ社が不正に取得したデータは、米大統領選挙で、特定候補への投票に誘導するといった、選挙介入に使われた可能性があるとされています。また、EU離脱を問う英国国民投票でも、同社によって個人情報が不正に利用されたとの疑惑が浮上しています。



(次のページへ続きます)

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。

また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

□当資料は、日興アセットマネジメントが経済一般・関連用語についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。□投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

されれば、フェイスブックはもちろんのこと、米国のハイテク企業にとって逆風になると考えられます。そうした規制強化への警戒感から、ハイテク株を中心に、米国の株式市場は大きく下落する展開となりました。

こうしたなか、21日には、フェイスブックのザッカーバーグCEOが、データの保護に関して「我々は過ちを犯した」との声明を出すとともに、再発防止策を示しました。これには、政府による規制強化を避ける狙いがあると報道されています。

フェイスブックが保有する個人情報などのビッグデータは、高度な分析技術により、効果的なマーケティングや、様々な製品やサービスを生み出すようになり、その価値が高まっています。20世紀の代表的な資源を石油とすれば、英経済誌などでは、21世紀において最も価値のある資源は「データ」と評されています。

今回の不正利用が、世界の政治・社会を大きく動かした米大統領選挙の結果に影響した可能性もあり、改めてデータという資源を持つ価値や影響力に注目が集まっています。

2. FANG(ファンク)

FANGとは、フェイスブック(Facebook)、アマゾン・ドット・コム(Amazon)、ネットフリックス(Netflix)、グーグル(Google、現アルファベットの子会社)の、米ハイテク大手4社の頭文字を取った言葉です。アップル(Apple)を加えて「FAANG」と呼ぶ場合もあります。


FANGは、最新のテクノロジーを駆使し、新しい製品・サービスを生み出し、世界の産業構造を変えてきました。各分野で独占的なシェアを獲得しており、近年の米国株式の上昇をけん引しました。

これら企業の優位性として、独占的な地位を利用し、データという資源を効率よく収集・活用できる仕組みを持つことが挙げられます。例えば、フェイスブックはSNS、アマゾンは通販サイト、グーグルは検索エンジンというように、プラットフォーム(関連サービスなどを展開する土台)の提供を通じて、利用者の趣味嗜好や消費行動などに関するデータを大量に収集することが可能となっています。

今回の問題を発端に、データやシェアの独占に対して、規制が強まる可能性も考えられます。成長を続けるために、米ハイテク企業がこうした問題にどのように対応していくか、注目が集まります。

株式市場に大きな影響力があるだけに、FANGをはじめとした米ハイテク企業の動きから目が離せません。

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

 で、経済、投資の最新情報をお届けしています。

ステップアップ

ビッグデータとは、純粋にデータサイズが大きだけでなく、一定の規則性で整理されておらず、構造が複雑で分析が難しいデータを含むのが特徴です。例えば、音声や映像、位置情報といったデータが挙げられます。近年では、分析技術が発達し、ビッグデータの分析・活用が進んでいます。



口当資料は、日興アセットマネジメントが経済一般・関連用語についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。口投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。